

北海道立北方建築総合研究所 NEWS LETTER

北方かわらばん

Mail Magazine VOL.7 2009/05/31

「北方かわらばん」は、北海道立北方建築総合研究所が発行しているメールマガジンです。ホームページ等で配信登録された方にお送りしています。アドレスを登録した覚えのない方、登録内容の変更、配信停止は【管理者からのお知らせ】をご覧ください。このメールアドレスは配信専用のため、返信できませんのでご了承ください。

※MSゴシックなどの等幅フォントでご覧ください。

今月号のトピックス

第7号の内容はこちらです。

■イベントのお知らせ

(仮称)平成21年調査研究報告会(札幌) 開催日決定!

■今回の特集記事

もうすぐ開催!平成21年調査研究報告会(旭川)のトピックス

■北総研からのお知らせ

住宅用トータルエネルギー予測プログラム配布中

平成20年度年報・調査研究報告集CD-ROM発行のお知らせ

イベントのお知らせ

■【(仮称)平成21年調査研究報告会(札幌) 開催日決定!】

年2回、旭川と札幌を会場に開催している調査研究報告会ですが、札幌会場の日程が決まりました。

「これからの北海道の住宅(仮)」をテーマに、平成21年9月14日(月)に札幌コンベンションセンター大ホールCにおいて開催いたします。

第1部調査研究報告会、第2部シンポジウムの2部構成を予定しており、シンポジウムでは、巽和夫氏（京都大学名誉教授、長期優良住宅先導的モデル事業評価委員長）をお迎えし、基調講演をいただく予定です。
詳細が決まり次第、メールマガジンやホームページ等でお知らせする予定ですので、もうしばらくお待ちください。

=====
今回の特集記事
=====

■【もうすぐ開催！平成21年調査研究報告会（旭川）のトピックス】

いよいよ開催間近となりました。

平成21年6月8日（月）、9日（火）の2日間にわたって開催する調査研究報告会は、平成20年度に終了した研究課題報告のほか、国土交通省の平成21年度長期優良住宅先導的モデル事業に採択された「北方型住宅ECOプロジェクト」「北海道R住宅先導的モデル事業」の話題、平成21年改正の改正省エネルギー法の基準解説など、皆様のお役に立つ情報も提供します。

▼上記以外の主な内容▼

- ▽6月8日：要介護者のための住宅改修や良質な民間賃貸住宅の展開、構造計算適合性判定、地域活性化や防災対策など、近年の地域行政課題に即応する研究の報告（9課題）
- ▽6月9日：省エネルギー、換気部材及び設備、耐震改修工法、コンクリートに関する研究の報告（12課題）
- ▽6月9日：カナダの最新省エネ住宅事情及びドイツのガラスファサード建物に関する海外調査報告
- ▽6月9日：庁舎紹介DVDの放映や希望者への所内見学、研究課題のポスターセッション（全49課題）の開催

今回の報告会で報告する研究課題の概要、研究報告書につきましては、当研究所のホームページにて事前に公開しております。
現在のところ、まだお席に余裕がありますので、当日受付を行う予定です。
ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。

詳しくは、当研究所ホームページをご覧ください。
http://www.hri.pref.hokkaido.jp/090608_09asahikawa.html

=====
北総研からのお知らせ
=====

■【住宅用トータルエネルギー予測プログラム配布中】

平成21年5月18日より、当研究所ホームページにおいて「住宅用トータルエネルギー予測プログラム」を公開しています。

ユーザー登録をしていただいた方に無償で配布しておりますが、公開から約1週間、北海道内外を問わず多くの方にご登録いただき、予想を上回るペースで登録者数が増え続けています。

このプログラムは、住宅の地域の気象データや断熱性能、設備などの情報を入力することで、年間のエネルギー消費量やCO₂排出量、運転コストを算出することができるコンピュータプログラムで、北海道大学、財団法人ベターリビングと共同研究を行い開発したものです。

当研究所ホームページよりユーザー登録を行うことができますので、本プログラムをご希望の方は、下記のホームページをご覧ください。

<http://www.hri.pref.hokkaido.jp/provide/software-energy.html>

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

■【平成20年度年報・調査研究報告集CD-ROM発行のお知らせ】

平成20年度に実施した研究の概要、研究所の動き、終了した研究の報告書が1枚のCD-ROMに収録された「平成20年度年報・調査研究報告集」を平成21年6月8日（月）に発行します。

同日から開催の平成21年北方建築総合研究所調査研究報告会にて配布いたします。報告会に参加されない方でご希望の方は、郵送いたしますので、電話、ファクス、メールでお申込みください。

▽お問い合わせ先▽

企画指導室指導支援科
電話 0166-66-4218
FAX 0166-66-4215
メール info@hri.pref.hokkaido.jp

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

【編集後記】

先日、北海道の住宅技術の特集が一般紙に掲載されました。「北国の家造り世界標準に」というタイトルです。記事の内容は、北海道の住宅技術が国内外で脚光を浴び環境配慮の世界標準になりうるというもの。北総研の名前も取り上げられており、好意的に掲載されるのはとてもうれしい限りです。車もEC

O、家電もE C O、みんなE C Oの世の中ですので、北海道の住宅E C Oも当然話題になることでしょう。北海道が推進してきた北方型住宅が20年を経て、やっと追い風を感じています。

しかし、思い起こせば北方型住宅の認定基準を初めて策定したのが20年前。当時は、規制行政の代名詞であった建築基準法を所管する行政のこと。「金持ちのための住宅の誘導基準を作るのはいかなものか」という声も聞かれました。緊急性、必要性といったまっとうな（と思われる）政策議論の攻撃にさらされ、道単独費による予算も中止。いつまで北方型住宅の政策を続けるのかといった声も聞かれはじめ、当時は、風は風でも浮き世の風でした。

ところが、地域ブランド重視の流れから徐々にその風向きが変わり、その後、省エネルギー重視の流れからその風向きが確かなものになり、さらに、北方型住宅が技術基準のみならず技術者資格や履歴保存などサポートシステムという鎧を身にまとい、こうして進化した『北方型住宅E C O』が、昨年、国の「超長期優良住宅モデル」に選定されて全道各地に123戸（補助金約2.4億円）が建設され、大いなる満足感を感じたものでした。

北海道の特徴は、なんと言っても全道地域の工務店の方々にまで浸透した高い技術力にあります。この誇るべき北海道の技術力を活かし、じっくり育て上げた北方型住宅という風を多くの方々に送り込みたいと思っています。

（椿谷）

=====
管理者からのお知らせ
=====

アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記のアドレスより購読解除の手続きを行っていただくか、メールにてお知らせください。
登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。
メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・解除はこちら

<http://www.hri.pref.hokkaido.jp/provide/mail.html>

変更・解除の場合は、備考欄に「変更」または「解除」と記載してください。

■各種お問い合わせ専用メールアドレス info@hri.pref.hokkaido.jp

ご登録いただいた情報は、ニューズレターの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

発行：北海道立北方建築総合研究所企画指導室